

東部日本語ボランティアネットワーク 第12回定例会（議事録）

【日時】2011年10月1日（土） 14:00～16:00 【場所】三島本町タワー4F

【参加者】12名

(1) 近況報告

沼津国際交流協会

学習者が少ない。以前は30～40名だったが、昨年末頃から15名前後。

プロジェクトチームを立ち上げ、いくつかのテーマについて取り組みを始めた。

テーマ：学習者を増やすためにどうすればよいか。積み上げ式だけで中長期的にも対応していくべきか。学習者がイントロでやめてしまわないような工夫について。その他。

伊東国際交流協会

生徒の申し込みは先月から戻りつつある。ホテルの研修生がほとんどで、1級2級受検者。

申し込みが少なかった時は、講師の勉強会を行った。

子どもは中学3年生が一人来室。日本語・学習支援を実施中。

富士宮市国際交流協会・ACC

静岡産業大学でスピーチコンテスト出場者を募集したが、集まりが悪かった。

ACCに中学を卒業した子が入ってきている。高校に進学できるサポートをしていきたい。

ACCが中国の大学から学生を受け入れてホームステイを実施し、好評だった。

中学生の学習支援をしている。(学校と協会)

自分だけで抱え込まないで、誰でもいつでも支援できるしくみを考えたい。

イベント…10/15、10/16

8/16 沼津研修会感想…学校の先生にも熱心な人がいるので、つながりを少しずつ作りたい。

先生とボランティアが、お互いを理解し合えるいい機会だったと思う。

イベントなどの広報にTwitterやface bookが利用できそう。

日本語の勉強に、i-padやi-phoneアプリも役立つ。指なぞりもある。

三島日本語サークル

9/3（土）に国際交流功労賞のお祝い会を行った。今までの役員も参加して設立当初の思いや苦労話が聞けた。

今年度の児童支援が始まった。

現在の生徒の申し込みは特定の会社や仕事のみ。

講師ステップアップ講座「中級の教え方（主催 MIRA）」が開催中、会員の一部が参加。

のびっこクラブみしま

三島市で外国人子ども学習支援教室の運営をしている。無料。予約不要。

9/15 新聞掲載の反響は大きかった。

HPから、日本語・英語・スペイン語のパンフも出るなので、広報をお願いしたい。

裾野市海外友好協会

日本語教室の生徒が激減している。対策に苦慮。

10/15、オーストラリアンフェア 2011 入場無料。豪華抽選会あり（14：30～）。
姉妹都市であるオーストラリアフランクストン市から 44 人のホームステイを受け入れる。

伊豆の国市国際交流協会

市から補助金が出るが、ほとんど手弁当。

火曜日 19：30～21：00「話そう会」 無料。予約不要。講師も自由参加。生徒は市外からも。

研修生はインドネシア、ALT はジャマイカ・アメリカ・カナダ、他フィリピンの小学生等。
フィンランド人高校生の長期ホームステイ（10 ヶ月）を 5 人で受け持った。

9/3、アフリカ料理講習会を実施した。

富士にほんごの会、富士市国際交流ラウンジ（FILS）、

SIR 主催で外国人青年のための「みのり教室」開催中。場所：市役所

週 3 回。テキストは『みんなのにほんご』抜粋。N5 合格を目指す。

ニーズはあっても、思うように生徒が集まらない。

富士にほんごの会が 15 周年を記念してテキスト作成…『富士でくらす人の楽しい日本語』

このテキストを使った日本語講座を 11/5 から開催予定。講習費：500 円（テキスト代）

10/5～（8 回）…講師のための講座を開催。

11/27、外国人のための防災研修会

清水町国際交流協会（la fuente）

長沢公民館での子ども学習教室。月曜日 3 時～4 時。予約不要。

補助金を出してもらえることになった。ボランティアの交通費や教材のコピー代に使う。

2F で日本語教室を開催している CIRCULO と連携。

フィリピン人が急増。一族で移住か。

CIRCULO

2 年前から県事業の日本語教室を開催。

原教室・東部パレット教室・清水町長沢公民館教室で実施。

今回は「生活支援（児童などの就学を含む）」とあったので、カリキュラムに組み込んで清水町 la fuente と連携、子どもに関わるようになった。1F 2F あわせて子どもが 20 人になる時もある。

社会保障や震災（防災）についての講座を実施。

10/30、スピーチフェスティバル 13：00～17：00 東部パレット 3F ポットラック

アコースティック、マジック（イリュージョン？）あり。

今後のイベント情報詳細は相田さんへ（HP に掲載します）

(2) 静岡県版「日本語初期指導カリキュラム」研修会

講師：矢崎先生（8/16 於：沼津）の報告

研修の概要

参加者 30 人弱、先生の講義、資料紹介と、班の中での意見交換・全体発表という形式で行われた。

内容

○自己紹介・班内で現状シェア

○テーマ：外国人が学校にいることによる、本人と周りの人のメリット、デメリット

- ・ 心に壁のない子どもの時期に、異文化、知らないもの、なじみのないものに触れる機会が得られる。違和感を早くなくせる。
- ・ 日本人児童が、日本語と違う言葉（文法など）に対する興味を持てる
- ・ 日本人児童が、外国のことと区別することで日本のことを知る機会になる
- ・ 外国人児童が生活言語を身につけられる、将来役に立つ
- ・ 外国人児童が将来労働力になれる
- ・ コミュニケーションスキルを得られる（身振り手振りによるものも）、楽しめる
- ・ 生きた課題が得られる
- ・ クラスに共通課題ができることで一体感が生まれる

デメリット

- ・ 言葉、文化の違いで打ち解けられない子もいる

○文科省指導要領の紹介

- ・ 一人ひとりの実態を把握することが大切
- ・ 特に文字の読み書きについて、段階的、効率的指導の工夫が重要
- ・ 取り出し指導や放課後の活用が大事
- ・ 性急に未履修分野の指導を進めようとせず、生徒の実態に合わせた方法で教える
- ・ 教師自身が生徒の在留国に関心を持ち理解しようとする姿勢
- ・ 課外において当該国の言語や文化の学習の機会を設けることなどにも配慮する

○「将来へ続く道」(チューブ君、丹羽さん)を読んで、印象に残ったところを全員で共有した。

チューブ君 (カンボジア)

- ・ 小学校 4,5 年の時、先生が透明人間だったときの苦勞(ついていけない子を見てみないふり)。友達も少なく不安。⇒意見：悪条件が重なった時に、抜け出せるフォロー体制が大事ですね。先生だけに任せず、複数の目で見てあげたい。キーパーソンいれば一番良いのは前提。
- ・ 両親が自分を学校に通わせるために頑張って働いてくれたこと、勉強についていけない自分を心配してくれたことに、とても感謝して、なんとか「こたえられる人間」になりたいと思っている。⇒すばらしい。
- ・ ボランティアの先生が、自分の祖国カンボジアについて教えてくれた。⇒意見：関心を持ってあげるのが大事

その他意見：

- ・ 透明人間期以外は人に恵まれているが、本人の努力が大きい。

- ・ 暖かく迎える日本のすばらしさを感じた
- ・ 居場所を作ってあげて、不安を与えないことが大事

丹羽さん (ブラジル)

・ 中学校でいじめにあったときの苦勞。話しやすい男子とよく話していて、女子から誤解された。
⇒ 国民性の差が出ますね。

○ 静岡県版「日本語初期指導カリキュラム」の概要と教材などの紹介

プレクラスや学校内の国際教室などにおける、初期日本語指導の指針をまとめたもの

- ・ 20 日間の指導プラン (1 日 2,3 時間)
- ・ 4 日間の在籍学級の担任による学級活動
- ・ ひら仮名教え方 (矢崎先生の教授法紹介 指書き⇒なぞり (公文カード) 書き⇒写し書き、坊主めくり、ひらがな 7 ならべ、)